

呉工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	建築計画 I	
科目基礎情報							
科目番号	0151			科目区分	専門 / 選択必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	日本建築学会編「第3版コンパクト建築設計資料集成」(丸善), 青木義次「一目でわかる建築計画」(学芸出版社)						
担当教員	篠部 裕						
到達目標							
1. 人体寸法, 動作寸法, 物品寸法などの寸法計画を説明できる。 2. 独立住宅の建築計画に関する全体計画と各部計画の要点を説明できる。 3. 住宅の基本的な設計技法の概要を説明できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
人体寸法, 動作寸法, 物品寸法などの寸法計画		人体寸法, 動作寸法, 物品寸法などの寸法計画について適切に説明できる		人体寸法, 動作寸法, 物品寸法などの寸法計画について説明できる		人体寸法, 動作寸法, 物品寸法などの寸法計画について適切に説明できない	
独立住宅の建築計画に関する全体計画と各部計画		独立住宅の建築計画に関する全体計画と各部計画について適切に説明できる		独立住宅の建築計画に関する全体計画と各部計画について説明できる		独立住宅の建築計画に関する全体計画と各部計画について説明できない	
住宅の基本的な設計技法		住宅の基本的な設計技法について適切に説明できる		住宅の基本的な設計技法について説明できる		住宅の基本的な設計技法について適切に説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)							
教育方法等							
概要	建築計画とは、生活と空間の関わりを科学的に捉え、これをモデル化・体系化した学問である。本科目では各論として独立住宅の計画論についての基礎知識、総論としての建築空間の寸法体系と基本的な構成方法を習得することを目的としている。						
授業の進め方・方法	講義メモを中心に、適宜、教科書の資料を用いながら授業を行う。						
注意点	本授業の学習内容は、二級建築士の学科試験(計画)の内容とも関係しており、将来の資格取得上、重要である。新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	生活と寸法		基本的な人体寸法、動作寸法、物品寸法を説明できる		
		2週	建築の各部寸法		建築の各部寸法(廊下、階段、トイレなど)をモジュールについて説明できる。		
		3週	独立住宅の全体計画		独立住宅の敷地条件、住生活の構成要素、プライバシーについて説明できる。		
		4週	動線計画と配置計画		動線計画、配置計画、ゾーニング、ブロックプランを説明できる。		
		5週	リビング空間の計画		リビング空間(居間、食堂、寝室、客間)の計画の要点を説明できる。		
		6週	サービス空間(の計画		サービス空間(台所、家事室、浴室など)の計画の要点を説明できる。建築計画の基礎知識の要点を理解し、イラストと短文で表現できる。		
		7週	住宅の設備計画		住宅の設備計画(給排水衛生設備、空調設備、照明設備)の概要を説明できる。		
		8週	住宅と建築法規1		住宅に関連する法規(単体規定)の基礎を説明できる。		
	2ndQ	9週	住宅と建築法規2		住宅に関連する法規(集団規定)の基礎を説明できる。		
		10週	バリアフリーと住宅計画		バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインと住宅計画の関係を説明できる。		
		11週	近代建築の3巨匠と住宅設計		ライト、コルビュジェ、ミースの設計思想と住宅設計の特徴を説明できる。		
		12週	近代建築の3巨匠と住宅設計		ライト、コルビュジェ、ミースの設計思想と住宅設計の特徴を説明できる。		
		13週	現代住宅の系譜		現代住宅の設計の系譜(日本の住宅、世界の住宅)を代表的な住宅を例に説明できる。		
		14週	振り返り		1週から13週までの学習内容の要点を、建築計画学習かるたとして説明できる。		
		15週	前期末試験		前期末試験までの授業内容を理解している。		
		16週	答案返却・解答解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。		4	
				居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。		4	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	40	0	0	5	55	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	40	0	0	5	55	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0